

夏季休暇期間中における家畜防疫対策の徹底について

近隣諸国でアフリカ豚熱、口蹄疫等の家畜伝染病の発生が継続しています。

昨年10月に入国規制が撤廃され、口蹄疫、アフリカ豚熱等の発生地域との間の人・モノの移動が増加することが予想されます。

家畜伝染病の侵入・まん延防止のため、以下の対策について継続いただきますようお願いいたします！

★家畜飼養者及び畜産関係者の皆様へ★

◆ 海外渡航の自粛

- ・アフリカ豚熱や口蹄疫の発生地域への渡航は可能な限り自粛してください。
- ・外国人従業員へ、海外からの肉製品等持ち込み禁止を周知徹底してください。

◆ 衛生管理区域への病原体持ち込み防止

- ・衛生管理区域への部外者等の立入禁止や、不要物の持ち込み禁止！
- ・やむを得ず部外者の立入りや物品の持ち込みがある場合は、十分に洗浄、消毒しましょう！
- ・野生動物や野鳥の侵入防止対策をお願いします！

◆ 毎日の健康観察と異常の早期通報

- ・毎日、家畜の健康観察を行ってください。家畜に異常、特に「特定症状(次頁参照)が見られたときは、直ちに当所に通報してください。

近隣の発生国(2023年)

【口蹄疫】

中国、韓国(5月にも発生！)

【アフリカ豚熱】

中国、韓国をはじめアジア・ヨーロッパの広い地域で発生(韓国では7月にも発生あり！)



各疾病の特定症状

■ 豚熱・アフリカ豚熱(豚)

- 耳、下腹部、足等の紫斑(チアノーゼ)
- 40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退
- 結膜炎、目やに
- けいれん、後ろ足の麻痺
- 皮下出血、血便



赤紫の耳(紫斑)



結膜炎(目やに、充血)

■ 口蹄疫(牛、豚、山羊、羊、鹿)

- 39℃以上の発熱
- 泡状のよだれ
- 口、ひづめ、乳房の水ぶくれ
- 泌乳量の大幅な低下
- 同一畜舎で、複数の家畜の口などに水ぶくれ



泡状のよだれ



水ぶくれが
やぶれて、
皮がむけた
ひづめ

特定症状が見られたら、家畜保健衛生所に連絡を！